

## 【佐賀県】

現在の景気：足踏み。

3か月程度の見通し：低調ながら一部持ち直しに向けた動きが続くとみられている。

個人消費：低調。2月の大型小売店販売（店調後）は前年比3.4%減と7か月連続で減少。

乗用車販売は前年比28.0%増と5か月連続で増加。

住宅建築：低調ながら、一部持ち直し。2月の住宅着工戸数は、貸家が前年比15.0%減少したものの、持家が2.6%増加、分譲住宅が7.6倍増加し、全体では前年比20.7%増と5か月連続で増加。

設備投資：低調ながら、一部持ち直し。2月の貨物自動車販売は前年比26.8%増と5か月連続で増加。1月の建築着工床面積（非居住用）は、製造業、卸売業・小売業などが増加したものの、鉱業・建設業、医療・福祉などが減少し、全体では前年比17.8%減と2か月連続で減少。

公共工事：低調。2月の公共工事請負額は、独立行政法人等、その他公共的団体が増加したものの、県、市町などが減少し、全体では前年比15.0%減と5か月連続で減少。

輸出：低調。2月の伊万里港の輸出額は前年比25.0%減と2か月ぶりに減少。唐津港の輸出額は前年比96.7%増と2か月ぶりに増加。

生産活動：低調ながら、足許上昇。1月の鉱工業生産指数（季調済）は、金属製品、電子部品・デバイスなどが低下したものの、輸送機械、食料品などが上昇し、全体では前月比1.0%上昇し2か月ぶりに上昇。原指数は前年比2.0%低下し2か月連続で低下。

観光：低調。2月の宿泊客数は、唐津地区、嬉野地区ともに減少。

雇用情勢：低調ながら、一部持ち直し。2月の有効求人倍率（季調済）は0.66倍と4か月ぶりに上昇。新規求人数は前年比14.5%増と25か月連続で増加。雇用保険受給者数は前月比2.9%減少、前年比は6.0%増加。

### （トピックス）

3月27日、次代を担う技能者を育成・確保するため、ものづくり人材の育成や技能振興に産学官が連携して取り組む「さがものづくり振興協議会」が発足。アジア諸国の技術的な追い上げ、円高や原材料価格の上昇など、ものづくりを取り巻く環境が厳しさを増している。そのようななか、資源に乏しい我が国の強みは「技術」と「人材」と考え、優れたものづくり技術・技能を将来へ継承し、さらにレベルアップを図ることが必要であるとして、今回の発足に繋がった。